3-062-474-**01** (1)

DirectCD ™

ソフトウェア取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

MVC-CD1000

- Adaptecはアダプテック社の登録商標です。
- Easy CD Creator、DirectCDはアダプテック社の商標です。
- Microsoft、MS、MS-DOS、およびWindowsは、Microsoft Corporationの登録商標です。
- MacintoshおよびMac OSは、Apple Computer, Incの商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお本文中では、™や®は、明記していない部分もあります。

目次

はじめに

本書では、MVC-CD1000に付属のアプリケーションDirectCDのインストール方法と基本的な使いかたについて説明します。
付属のCD-ROM内のPDFファイルの内容と本書の内容が異なる場合は、本書の内容を優先してください。

ご注意

Mac OS**をご使用の場合、**DirectCD**をインストールすることはできません。**ファイナライズしたディスクをMac OSで読むためには、MVC-CD1000に付属のSPVD-001と書かれたCD-ROMから「Adaptec UDF Volume Access」をシステムフォルダにコピーして、再起動してください。

DirectCD**を使ってできること**

DirectCDがインストールされているWindowsパソコンとMVC-CD1000をUSBで接続すると、次の操作が可能になります。

- MVC-CD1000で撮影した画像ファイルをパソコンに送り、パソコンで再生する（ファイナライズしていなくても可能）。
- パソコンに取り込んだ画像ファイルをディスクに書き込んで、アルバムを作成する。
- CD-R/CD-RWドライブでは、MVC-CD1000で撮影した画像をファイナライズせずに、直接ディスクから読み出しまたは書き込みできる。

DirectCD**に必要な**Windows**のシステム環境**

- Pentium 166 MHz以上のプロセッサーを搭載したパソコン
（MVC-CD1000と併用する場合は、MMX Pentium 200 MHz以上）
- 32 MB以上のRAM
- 45 MB以上のハードディスク空き容量
- 800×600以上の解像度を持ち、256色以上を表示できるディスプレイ
- Internet Explorer 4.01以上

DirectCDをインストールする

- CD-ROMドライブを使っている場合
  ファイナライズしてあるディスクをCD-ROMドライブで読み出すだけなら、DirectCDは不要です。ファイナライズしていないディスクから読み出しまたは書き込みをするには、パソコンとMVC-CD1000をUSB接続した上で、DirectCDをインストールすることが必要です。USB接続についてはMVC-CD1000の取扱説明書をご覧ください。
- CD-R/CD-RWドライブを使っている場合
  以下の中から使用目的にあった方法をお選びください。
  ーパソコンにライティングソフトがインストールされていないときは、DirectCDが使えます。DirectCDをインストールしてください。
  ーバージョンの違うDirectCDがすでにインストールされているときも、付属のCD-ROMのDirectCDをインストールしてください。別バージョンのDirectCDではMVC-CD1000を使うことができません。インストールすると、既存のDirectCDはバージョンアップされます。
  ーDirectCD以外のライティングソフトがすでにインストールされている場合は、既存のライティングソフトをアンインストールしてからDirectCDをインストールしてください。既存のライティングソフトを使いたい場合は、DirectCDをインストールしないでください。MVC-CD1000を使うことはできません。

ご注意

お持ちのCD-R、CD-RWドライブの種類によっては、DirectCDを使用することができません。

DirectCDをインストールする（つづき）

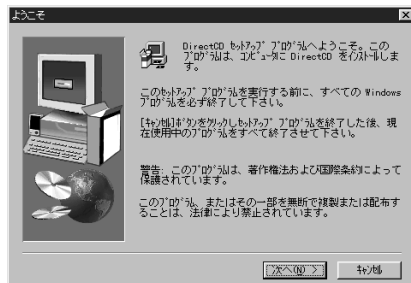
Windows 98の場合

❶ **パソコンを起動し、SPVD-001と書かれたCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れる。**

下記の画面が表示されます。必要に応じて言語を選ぶことができます。

画面が表示されない場合は、CD-ROMの「SETUP.EXE」を起動してください。

❷ **[DirectCD］をクリックする。**

「ようこそ」ウインドウが表示されます。

❸ **[次へ］をクリックする。**

❹ **ライセンス契約をよく読み、同意する場合は［はい］をクリックする。**

❺ インストール先のディレクトリーを確認する。

デフォルトのインストール先以外のディレクトリーにインストールする場合は［参照］をクリックして、ディレクトリーを選択してください。

❻ ［次へ］をクリックする。

プログラムのセットアップが開始され、パソコンへのファイルのセットアップが始まります。

インストールが完了すると、最初の画面に戻ります。

❼ ［終了］をクリックする。

「セットアップの完了」ウインドウが表示されます。

DirectCDは再起動後に有効になります。［はい、直ちにコンピュータを再起動します。］をチェックし、［終了］をクリックします。

付属のCD-ROMに入っているEasy CD Creatorについてのご注意

- MVC-CD1000をUSB接続した状態で、Easy CD Creatorを使うことはできません。
- 必ず付属のCD-ROMに入っているバージョンのEasy CD CreatorをDirectCDと同時にインストールしてください。他のバージョンのEasy CD Creatorがインストールされていると、付属のCD-ROMからインストールしたDirectCDが動作しなくなることがあります。

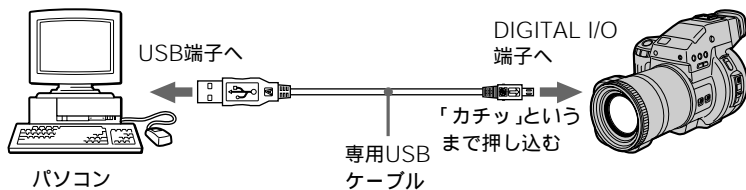
DirectCDを使う

MVC-CD1000をUSBでパソコンと接続するには、パソコンにUSBドライバーがインストールされている必要があります。
USBドライバーのインストールについては、MVC-CD1000の取扱説明書の「USBドライバーをインストールする」（31ページ）をご覧ください。
また、USBで接続したときのディレクトリー構造については、MVC-CD1000の取扱説明書の「画像ファイルの保存先とファイル名について」（38ページ）をご覧ください。

ご注意
ディスクにデータを書き込んだ場合、ディスクをMVC-CD1000から取り出す前に、必ず[取り出し]の操作(12ページ)を行ってください。これを行わないで、ディスクカバーを開けてディスクを取り出したり、USBケーブルをはずしたりすると、ディスクのデータが壊れることがあります。

DirectCDを起動する

未使用のディスクを使う場合や、ファイナライズしたディスクに新しく画像を記録する場合は、「フォーマットする」（9ページ）の操作を行ってください。

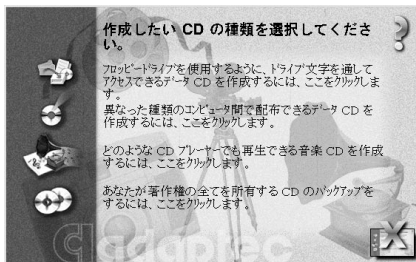
❶ MVC-CD1000にディスクを入れ、パソコンとUSBケーブルで接続する。

❷ MVC-CD1000とパソコンの電源を入れる。

「CDの準備ができました」というメッセージが表示されます。
このメッセージが表示されないときは、Windowsタスクバー端のCDアイコン をダブルクリックします。

フォーマットする

ディスクに画像を記録する前に、ディスクをあらかじめフォーマット（イニシャライズ）しておく必要があります。
未使用のディスクをフォーマットすると、ソニーMavicaディスクの場合、約156 MBのデータが保存できます。

❶ 「DirectCDを起動する」（8ページ）の手順に従ってDirectCDを起動する。

しばらくすると、「作成したいCDの種類を選択してください」というメッセージが表示されます。

❷ 一番上にある「フロッピーディスクドライブを使用するように、ドライブ文字を通してアクセスできるデータCDを作成するには、ここをクリックします。」を選択する。

「Adaptec DirectCDウィザード」がスタートします。

ご注意

一番上以外のオプションを選択しないでください。ディスクがMVC-CD1000で使えなくなります。

❸ 「ようこそ」ウィンドウのメッセージを確認したら、［次へ］をクリックする。

レコーダー情報が表示されます。

❹ **レコーダー情報を確認したら、［次へ］をクリックする。**

「CDのフォーマット」ウインドウが表示されます。

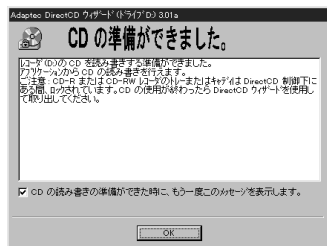
❺ **［次へ］をクリックする。**

「CD名を付ける」ウインドウが表示されます。

❻ **ディスクに名前（ボリュームラベル）を付ける。**

半角の英数字、またはアンダースコア「＿」で11文字まで入力することができます。

❼ **ディスクに名前を付けたら、［完了］をクリックする。**

約20〜30秒でフォーマットが完了し、下記のウインドウが表示されます。

❽ [OK] をクリックする。

ディスクにデータを書き込む

DirectCDメディアとしてディスクをフォーマットしたら、次のいずれかの方法でディスクにデータを書き込むことができます。

- MVC-CD1000で画像を撮影する。
- Windowsエクスプローラからディスクアイコンへ、ファイルをドラッグアンドドロップする。
- Windowsのアプリケーションのファイルメニューから［名前を付けて保存］をクリックし、MVC-CD1000のドライブ文字を選択する。
- ［送る］コマンドを使用する。
- WindowsのDOSウインドウで、MS-DOSのコマンドプロンプトを使用する。

ご注意

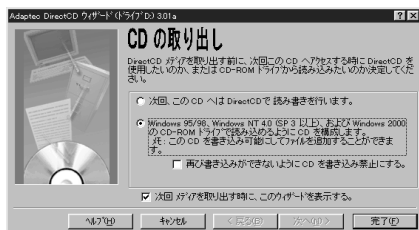
- 書き込んだデータのファイル名がDSC0□□□□.JPGという形式になっていないとMVC-CD1000では再生できません。詳しくは、MVC-CD1000の取扱説明書の「画像ファイルの保存先とファイル名について」（38ページ）をご覧ください。
- 書き込んだデータが大きすぎると、MVC-CD1000で再生できないことがあります。

ディスクを取り出す

ご注意
ディスクにデータを書き込んだ場合、ディスクをMVC-CD1000から取り出す前に、必ず[取り出し]の操作を行ってください。これを行わないで、ディスクカバーを開けてディスクを取り出したり、USBケーブルをはずしたりすると、ディスクのデータが壊れることがあります。

また、ディスク内のファイルを画像表示アプリケーションで開いている場合は、［取り出し］の操作を行う前にそのアプリケーションを終了させてください。

1 タスクバーのDirectCDアイコンを右クリックし、ドロップダウンリストボックスから［取り出し］をクリックする。

「CDの取り出し」ウインドウが表示されます。

2 ［Windows…CD-ROMドライブで読み込めるようにCDを構成します］のオプションを選択し、［完了］をクリックする。

- ファイナライズしない場合は一番上を選択します。
- ファイナライズして、CD-ROMドライブで読み込めるようにする場合は、その下のオプションを選択します。このとき、［再び書き込みができないようにCDを書き込み禁止にする。］のオプションをチェックすると、ディスクへの追記・修正・改ざんができなくなります。ディスクの内容をこのまま保存する場合にチェックしてください。

3 MVC-CD1000のACCESSランプが消えたことを確認してから、ディスクカバーを開けてディスクを取り出す。

ディスクのデータを変更する

ディスクへデータを追加する

フォーマット済みのディスクは、ディスクの空き容量がある限りデータを追加できます。操作手順は次のとおりです。

❶ **ディスクを**MVC-CD1000**に入れて、**USB**ケーブルでパソコンに接続する。**

❷ **「**CD**の準備ができました」ウィンドウが表示されたら、［**OK**］をクリックし、ディスクにデータを追加する。**

ディスクからデータを削除する

ファイルを削除してもディスクの使用可能スペースは増えません。ファイルを削除すると、そのファイル名が画面に表示されなくなりますが（Windowsエクスプローラでは見えません）、そのファイルが書き込まれていたスペースに別のファイルを書き込むことはできません。
操作手順は次のとおりです。

❶ Windows**エクスプローラで削除したいファイルをクリックする。**

❷ **ファイルメニューの［削除］をクリックするか、**Delete**キーを押す。**

❸ **ファイルを削除してもよいかもう**1**度確認し、［はい］をクリックする。**
選択したファイルが消去されます。

ファイナライズ済みのディスクに追加データを書き込む

❶ **ファイナライズ済みのディスクを**MVC-CD1000**に入れる。**

❷ DirectCD**を起動する。**

❸ **［次へ］ボタンを順次**3**回クリックすると、ディスクのボリューム名を付けるウィンドウが表示される。**

❹ **ディスク名を付けるウィンドウで、ディスクのボリューム名を入力する。**
半角の英数字、またはアンダースコア「＿」で11文字まで入力することができます。

❺ **［完了］をクリックする。**
「CDの準備ができました」ウィンドウが表示されると完了です。
これで、WindowsエクスプローラやWindowsのアプリケーションを使って、ファイルをディスクに追加できます。

Sony online

http://www.world.sony.com/

「Sony online」は、インターネット上のソニーのエレクトロニクスとエンターテインメントのホームページです。

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35

Printed in Japan

この説明書は再生紙を使用しています。

VOC（揮発性有機化合物）1%以下植物油インキ使用